



すびっこ
美術館

サンフラワーこどもの森保育園

宮原栄虎くん



白鳥見学

保育園で行った公園の池で白鳥に食パンをあげる絵を描いてくれたのは栄虎くん(6歳)。「友達と一緒に行って楽しかったよ。一番左上が僕、白鳥の他にカモやコイもいたんだ!」と笑顔で話してくれました。

ぼくの夢
わたしの夢



夢は…。 “警察官”

中丸小学校6年 ●大森莉央

僕の夢は、警察官になることです。

どうして、警察官になりたいのかというと、何の罪もない人たちが被害に遭うことを防ぎたいからです。

警察官になるために、僕は今、習い事の空手を頑張っています。空手を頑張って練習して、強くなりたいです。それから、陸上競技も習っているの、助けを求める人たちのところに、すぐに駆け付けられるように、もっと速く走れるようになりたいです。

将来、警察官になったら、人々がけがをするような事故や事件、誘拐、その他の事件を減らして、みんなが安心して暮らせるようにしていきたいです。

そのために、今、習っている空手と陸上競技で教えてもらったことを生かして、事件があった場所にすぐに駆け付けて、たくさんの事件を解決できるようになりたいです。

わが家の子育てノート

表紙・高尾沙織

娘(咲希・1歳2か月)が生まれたのは昨年(2015年)の2月11日でした。13時間の陣痛を経て生まれてきた娘を胸に抱いた時は、なんともいえない愛おしい気持ちでした。

退院してからは、初めての育児に戸惑うことも多く、なぜ泣いているのか分からずおろおろしてしまったりと、毎日必死でした。わが子はかわいいけれど、育児の大変さに疲れてしまうこともありました。そんな時、私を支えてくれたのは、主人と母、そして同じ2月に出産した友人でした。主人は娘をとともかわいがってくれて、よく面倒を見てくれました。仕事で疲れているにもかかわらず、夜中のミルク作りにも協力してくれました。母も、率先して孫の面倒を見てくれました。

家にもっていった私を、友人が子育てサークルに誘ってくれました。サークルに参加すると、私と同じ悩みを持つお母さんたちがいて、悩んでいるのは自分だけではないことを知りました。すると、もやもやしていた気持ちがスッと楽になりました。

昨年の12月に、娘が川崎病になり入院しました。なぜ自分の娘が病気になってしまったのかと、不安な日々を

過ごしていました。そんな時、母からメールが届きました。「ママとしての意識を持って、頑張って看病してあげてね。咲希ちゃんも頑張っているからね」と書いてありました。その短い文章の中から、母親としての責任や子どもに対する愛情とは何かということを考えさせられ、涙が止まりませんでした。母にはとても感謝しています。

また今年2月からは、娘を保育園に預け、仕事に復帰しました。仕事と育児の両立ができるのか、また不安になりました。娘は保育園にすぐ慣れてくれるのか、娘が風邪を引いて、仕事を休まなければならぬとき、職場に迷惑を掛けてしまうのではないかと、考えれば考えるほど不安になりましたが、今では、保育園で楽しそうに遊ぶ娘の姿を見ることができ、安心していきます。

これからも育児に対して不安になることがたくさんあると思いますが、互いに支え合える家族、励まし合える友人がいることを忘れず、一度きりしかない子育てを楽しんでいきたいと思えます。

